◆ 年間登録メンバー募集のご案内 ◆

2020 年度 生産システム研究部会

リードタイム短縮による競争力向上

～最適なモノづくりシステムの追求～

2020
6/16

2021
3/ 3

1　生産物流研究部会

2　生産システム研究部会

3　モノづくり人材育成研究部会

4　モノづくり競争力研究部会

5　生産現場改善研究部会

6　葦クラブ研究部会

登録メンバー特典

２０２０年１２月　１日（火）
５S･見える化講座

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

２０２０年度　生産システム研究部会

市場ニーズに合わせた生産量が変動する中、それに対応していくには、自社に最適な生産システムを構築し、変化への対応力を高めていかなければなりません。そこで、リードタイム短縮を基軸としてフレキシブルな生産体制を作り上げ競争力を高めている事例や、ＩｏＴを活用して生産性を向上させている事例の研究を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて探究します。
皆様のご参加・ご登録をお待ち申し上げております。

年間テーマ

リードタイム短縮による競争力向上
～最適なモノづくりシステムの追求～

第1例会

と　き	２０２０年　6月１６日（火）　①10：00~13：10　②14：30~17：40	【主な生産品目】 チキンラーメン、カップヌードル、 日清のどん兵衛、日清焼そばU.F.O.
ところ	日清食品㈱ 関西工場　（滋賀県栗東市）	

「安全性と生産性の向上を追求した次世代型スマートファクトリーの構築」

～ 最新鋭の設備導入と IoT 技術の活用で自動化･効率化を実現 ～

日清食品㈱　取締役関西工場長　榎本　孝廣　氏

日清食品㈱　関西工場は敷地面積約 10 万㎡、日産 400 万食の生産能力を持つ国内最大級の食品工場である。同工場は次世代型スマートファクトリーとして、「ＮＡＳＡ室」と呼ばれる集中監視・管理室を設置し、工場内の全ての情報を一元管理できる体制を構築している。また、ロボット技術を活用し、これまで人の手で行っていた検査や原材料などの移動を自動化し、人為的ミスのリスクも低減している。そして、工場内を「高度清潔区」「清潔区」「準清潔区」の 3 つのエリアに区分し、精度の高い衛生管理を実現している。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

第2例会

と　き	２０２０年　９月　４日（金）　１３：００～１６：３０	【主な生産品目】 ミニショベル、 ミニホイールローダ
ところ	㈱日立建機ティエラ 滋賀工場　（滋賀県甲賀市）	

「生産改革活動における建機組立工程の自動化」

～ ＩｏＴ活用も見据えた生産性合理化の取り組み ～

㈱日立建機ティエラ　生産本部生産センタ副センタ長 兼モノづくり技術推進室長　久保　卓哉　氏

㈱日立建機ティエラ　滋賀工場ではミニショベルの生産をしている。同工場では、２０１５年より生産改革活動に取り組み、乱流であった物流動線の整流化、組立ラインへのロボット導入、ＡＧＶ導入によるフォークリフトレス化を進め、安全性の確保や省人化につなげている。また、２０２０年４月から日立建機㈱よりミニホイールローダの生産移管に伴い、ＩｏＴを活用した組立ライン構築に取り組んでいる。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

第3例会

と　き	２０２０年10月20日（火）・21日（水）　１３：３０～１７：００	【主な生産品目】 オートマチックトランスミッション用ＥＣＵ、 カーナビゲーション
ところ	アイシン・エィ・ダブリュ㈱　電子工場　（愛知県岡崎市）	

「ePlant のスマート化による生産現場の効率化」

～ “システムが人に寄り添う”生産環境の実現 ～

アイシン・エィ・ダブリュ㈱　生産技術本部電子生技部　部長　杉浦　昭　氏

アイシン・エィ・ダブリュ㈱　電子工場ではＥＣＵを年６００万台以上生産している。同社は２００７年より工場にある“あらゆるモノ・コト”の情報化を進め、２００８年にはＩｏＴデータプラットフォームを構築。電子工場ではＡＧＶやロボティクスの導入、ＡＩを駆使した自働化・自立化がなされている。さらに「ePlant のスマート化」を進めることで“システムが人に寄り添う”生産環境を作り上げている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

■ 当部会の企画・運営におけるご協力をお願いしております。　（順不同）

運営幹事

アイシン精機㈱	設備工機部部長	狭間　猛 氏
新東工業㈱	ものづくり本部調達推進グループマネージャー	藤田　智典 氏
住友電装㈱	ハーネス生産本部ＧＰＰＣ工法開発部部長	由利　英隆 氏
ヤマザキマザック㈱	生産本部生産技術部主幹	林　弘之 氏
リンナイ㈱	執行役員生産技術部長	井上　一人 氏

基本スケジュール　13:30～17:00

① 会社概要説明・テーマのプレゼンテーション　② 工場（現場）見学
③ グループディスカッション　④ 発表・質疑応答

▲ 写真はグループディスカッション風景
※ グループディスカッションでは、参加者が小グループに分かれて相互意見交流会を行います。

第4例会

と　き	２０２０年１２月１７日（木）　１３：３０～１７：００	【主な生産品目】 産業用多関節ロボット
ところ	㈱ダイヘン　六甲事業所　（兵庫県神戸市）	

「組み立ての自動化率８割達成による生産性向上」

～ 生産力７割増しでも人員は半減 ～

㈱ダイヘン　ＦＡロボット事業部製造部　部長　浅野　真一　氏

㈱ダイヘン　六甲事業所では、アーク溶接用の多関節ロボットなどを生産している。同事業所は２０１３年度から自動化を展開。同年の生産能力は年間約７０００台だったが、２０１８年度には年間１万２０００台へと能力向上を実現。その一方で、製造人員は２０１３年度に比べ、２０１８年度には５０％減を実現している。それを可能にしているのが、機械加工から組み立てまでのほとんどで自動化を進めたことにある。その取り組みとして、自社製ロボットによるロボット組み立ての自動化、各工程内の装置間や工程間を結ぶ搬送の自動化などである。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

第5例会

と　き	２０２１年　１月２８日（木）・２９日（金）　１３：３０～１７：００	【主な生産品目】 乗用車用・小型トラック用・ レース・ラリー用・二輪用タイヤ
ところ	住友ゴム工業㈱ 名古屋工場　（愛知県豊田市）	

「タイヤ生産におけるスマート化」

～ ＡＩ・ＩｏＴ活用による高効率な生産の実現 ～

住友ゴム工業㈱　設備技術部長　山田　清樹　氏

住友ゴム工業㈱　名古屋工場では「ダンロップ」「ファルケン」をはじめとした乗用車などのタイヤを生産している。同社ではＡＩやＩｏＴを活用したプラットフォームを構築。生産性、品質、予知保全、省エネルギーの４つのテーマでムダの排除を進め、高品質かつ高効率なタイヤ生産を実現している。また、これまでの生産性向上の取り組みでは、熟練技術者の経験やノウハウに頼っていた部分をデータに基づく意思決定に変えている。今回は、モデル工場である同工場の取り組みについてご紹介いただく。

第6例会

と　き	２０２１年　３月　２日（火）・３日（水）　１３：３０～１７：００	【主な生産品目】 缶・ペットボトル用自動販売機、 冷凍・冷蔵ショーケース
ところ	富士電機㈱　三重工場　（三重県四日市市）	

「自販機生産の見える化によるリードタイム短縮」

～ 現場改善の迅速化 ～

富士電機㈱　食品物流事業本部生産統括部　三重工場生産技術部　部長　飯田　大　氏

富士電機㈱　三重工場では自動販売機を生産している。同工場では生産全体を可視化できる共通基盤（プラットフォーム）を構築し、各工程の生産進度や生産性、直行率（手戻りなく次工程に進む率）、稼働率、リードタイム、工程間の仕掛かりなどが一目で分かるようにし、現場改善を一段と迅速化させ、リードタイム短縮につなげている。一方、組立ラインでは、２０２０年度に自販機本体と扉の混流ラインへ入れ替えるのに伴い、ＩｏＴ活用した生産ラインの構築を行っていく。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

開　催　要　領

参加対象

IE、生産技術、生産管理、製造部門の方　等

運営方法

①新型コロナウイルスの感染拡大状況、講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更、参加の制限をさせていただく場合がございます。

②各例会を2日間(または2回)に分けて行います。ご参加頂ける日程は、別途ご案内申し上げます。(第2・4例会除く)

③集合場所・時間等の**詳細案内を開催の約1カ月前**に**登録メンバー**へEメールにてご案内しますので、都度、ご出欠をご返信ください。なお、同じ組織であれば、登録者以外(代理)の方の参加も可能です。

④各例会とも指定の集合場所・時間に**各自でご集合**下さい。**現地集合・現地解散**

⑤視察先の都合により、同業者の方々のご参加をお断りする場合があります。
その際は、他の例会への振替参加(＋1名)をご案内いたします。
止むを得ない理由により、開催日時の変更が発生する場合がありますのでご了承願います。

⑥各例会とも、**録音・写真撮影はご遠慮**願います。

⑦年間の運営ガイダンスは第1例会の際に行います。

年間登録費

中部IE協会会員 ・・・・・・・・・・・・・ 85，800円
一般 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124，300円
(1名につき、資料代・消費税 10%を含む)

①年間登録費については、申込受付の後、請求書を送付させていただきますので、請求書に記載の期日までに、下記の指定銀行へお振り込み願います。
なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますので、ご了承願います。

②年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義：中部インダストリアル・エンジニアリング協会　振込銀行　口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店	普通	No.	1602917	名古屋銀行上前津支店	当座	No.	3116141
愛知銀行本店営業部	当座	No.	2678	りそな銀行名古屋支店	当座	No.	494070
中京銀行本店営業部	当座	No.	112438				

③**6月10日(水)以降の参加取り消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねます。
(ご登録者の変更をお願いいたします)

申込締切日

2020年6月9日(火)
登録申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又は 郵送にてご送付願います。
(締切日を過ぎる場合は予めご連絡下さい)

メンバー特典

当研究部会の登録特典として、1名に限り、下記のセミナーへ**会員価格の半額**でご参加いただけます。
詳細は、個別案内状をご送付申し上げますので、是非ご参加下さい。

2020年12月　1日(火)　5S・見える化講座(28，600円→14，300円 消費税 10%含む)

※ 個人情報の取り扱いについて
1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当協会の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。
なお、当協会個人情報保護方針の内容については、当協会ホームページ(https://www.cpc.or.jp/ie/)をご参照願います。
参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。
2. お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。　【個人情報に関する問い合わせ窓口　担当：齋藤・岩本　TEL052-221-1261】

お申込み・問合わせ先

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会
〒460－0003　名古屋市中区錦2－15－15（豊島ビル11階）
TEL 052－221－1261　FAX 052－221－1265
https://www.cpc.or.jp/ie/　担当：堤・村田

●中部IE協会　ホームページからもお申し込みいただけます！　中部IE協会　検索

2020. 4. 10

FAX. 052－221－1265

2020年　　月　　日

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会 行

２０２０年度　生産システム研究部会［第２部会］　登録申込書

〈フリガナ〉

会 社 名 _____

下記の通り登録申込みいたします。(昨年度登録申込みされている場合はこの申込書の送付は不要です。)

1	氏　名	フリガナ	所属部署 役 職 名	
	住　所	〒	T E L	(　　)　　－
			F A X	(　　)　　－
	E-mail			
2	氏　名	フリガナ	所属部署 役 職 名	
	住　所	〒	T E L	(　　)　　－
			F A X	(　　)　　－
	E-mail			
3	氏　名	フリガナ	所属部署 役 職 名	
	住　所	〒	T E L	(　　)　　－
			F A X	(　　)　　－
	E-mail			
4	氏　名	フリガナ	所属部署 役 職 名	
	住　所	〒	T E L	(　　)　　－
			F A X	(　　)　　－
	E-mail			

※ E-mail にて例会案内をお送りいたしますので必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

☐ 請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み

☐ 請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

［振込み予定日をご記入下さい　　月　　日(　　)］

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(85，800円 ・ 124，300円)［消費税含む］ ×　　口 ＝　　円

(事務局記入)

請求　　／　　No.202020

中部インダストリアル・エンジニアリング（IE）協会

研究部会のご案内

2020 年度

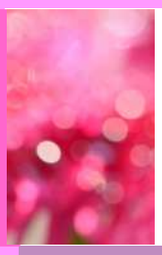
第1部会

生産物流研究部会

全体最適の物流による生産性向上　～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

モノと情報の流れをスムーズにすることで、ネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結び付いた事例ならびに現場訪問を通して、モノづくりにおける全体最適物流について考察する。

第2部会



生産システム研究部会

リードタイム短縮による競争力向上　～最適なモノづくりシステムの追求～

リードタイム短縮を基軸として、フレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例ならびに現場訪問を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて考察する。

第3部会

モノづくり人材育成研究部会

日本のモノづくりを支える人材の育成　～技術・技能を次世代へ～

モノづくりの技能、生産技術、製造技術等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例ならびに現場訪問を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について考察する。

第4部会

モノづくり競争力研究部会

自社の強みを磨き競争力を強化　～こだわりのモノづくりへの取り組み～

自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けて事例ならびに現場訪問を通して、競争力の本質ついて考察する。

第5部会

生産現場改善研究部会

愚直な改善活動こそがつくりあげる強い現場　～知恵は無限、改善は永遠～

徹底的なムダ排除に向け、こだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場の事例ならびに現場訪問を通して、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、これからの現場力の強化について考察する。

第6部会

葦クラブ研究部会

挑戦の先に自ら創り出す　未来のモノづくり　～人間は考える葦　現場のニーズは足で掴む～

第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺う事を通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかる。